2018.4.11
No.54
UNIRITAユーザ会ホームページ
http://www.uniritauser.jp

UNIRITA Users' Group

ユニリタ ユーザ会 ニュース

CONTENTS

02 第35回UNIRITAユーザシンポジウムご報告
04 シンポジウム開催レポート
06 第35回UNIRITAユーザシンポジウム受賞報告
07 Close Up！ シンポジウム最優秀事例発表賞インタビュー
08 平成30年度 研究グループのご紹介
10 UNIRITAユーザ会の主な活動内容/年間スケジュール
11 役員・代表の紹介
12 平成30年度メンバ募集

第35回 UNIRITA ユーザシンポジウム

平成30年3月1日～3日
ヒルトン福岡シーホーク

第35回UNIRITAユーザシンポジウムが、昨年に引き続き福岡で開催されました。今回は、全国から256社592名の方にご参加をいただき、活気溢れる3日間となりました。

UNIRITAユーザ会定時総会はユーザシンポジウムに合わせてあらかじめWeb総会として開かれ、各会員企業様の登録代表者の皆さまにご投票をお願いしました。皆さまのご協力のおかげで無事議案が承認されましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

坪井会長による総会報告

初日の全体会では、坪井会長による開会のご挨拶およびWeb総会の結果報告、シンポジウムの見所のご案内が行われました。その後、平成29年度より株式会社ユニリタ代表取締役に就任した北野裕行によるプレゼンテーション「事業を支えるIT部門から、事業を創るIT部門へ」と題し、前段では、新しい事業を創る企業や人物に共通する視点や思考について国内外の事例を交えながら紹介、後段では、事業を創る人に共通する困難や苦悩を理解し支える人の重要性を説明、最後にユニリタの新しい取り組み、業界SaaSへの挑戦について講演しました。

全体会の後は、事例発表9セッションと、ユニリタグループによるプレゼンテーション5セッション、パートナープレゼンテーション4セッションが行われました。満席となるセッションも多く、ご参加いただいた皆さまの関心の高さが伺えました。

北野社長

セッションの合間には協賛パートナー企業様によるPRタイムを開催し、パートナーズゾーンの出展内容や展示製品についてアピールいただきました。また、15時にはおやつとして山崎製パン様からたくさんのパンをご提供いただき、多くのお客様がお好みのパンを手に取り楽しんでいただきました。

2日目は28グループの研究発表およびマ

サッポログループマネジメント様からの差入れ

小岩井乳業様からの差入れ

山崎製パン様からのパンの差入れ

協賛パートナーPRタイムの様子

講演会 朝原氏

マネジメントセッション 菅沼氏

マネジメントセッション 鈴木氏

ネージャ層向けのマネジメントセッションが行われました。研究発表では、聴講者の投票によって評点が決まることもあり、発表者は緊張の面持ちで1年間の研究活動の集大成を発表しました。

参加事前登録制のマネジメントセッションは、受付開始後、数日で満員御礼となり、当日は、多くの方にご参加いただきました。

昼の講演会では、2008年北京オリンピック・陸上男子4x100mリレーの銀メダリスト 朝原宣治さんにご講演いただき、アスリートも競技に勝つためには、データ分析が必要不可欠だということなど、スポーツの世界にもIT活用が進んでいる現状をお話しされ、聴講者の関心を集めていました。

パートナーズゾーン

表彰パーティでは、優秀な評価を得た事例発表、研究発表の表彰式が華々しく行われました。最優秀事例発表賞は、株式会社匠BusinessPlace様、株式会社カラーズ様による「大介護時代を乗り切る『M3ケアポータル』」が受賞されました（詳細はP7をご覧ください）。

今回も非常に多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。これもひとえにご参加いただいた多くのお客様と、多くのお力添えをいただいた協賛パートナー企業様のおかげです。誠にありがとうございました。

第36回UNIRITAユーザシンポジウムは平成31年3月に開催予定です。プログラムなどの詳細は12月頃に皆さまのお手元にお届けいたします。

次回も多くの皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。

2日目パーティ

第36回UNIRITAユーザシンポジウムは平成31年3月に開催予定です。プログラムなどの詳細は12月頃に皆様のお手元にお届けいたします。
次回も多くの皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。

密着！

シンポジウム開催レポート
川原君が行く!!

第35回UNIRITAユーザシンポジウムの
突撃レポートを川原君が実施しました！！

01

福岡到着！！

春の嵐により全国的に大荒れの天気となりましたが、大きな事故なく無事到着！！会場となるヒルトン福岡シーホークは福岡ソフトバンクホークスのホームグランドであるヤフオクドームの隣にあり、唐人町駅から送迎バスで移動です。まだ、川原君の姿は見えません。

02

全体会

ヒルトン福岡シーホークに到着！！受付後に全体会会場に行くと大きな会場があり、昨年よりも人数が多い印象です。全体会では、坪井会長から定時総会での議案の報告や、来場者数の報告がありました。その後、ユニリタの北野社長からプレゼンテーションがあり、川原君は社長プレゼンのフォローで動けません。

03

事例発表

全体会の後は事例発表があり、多くの方が真剣に聴講されていました。普段では聴くことのできない各社の取り組みや知らない業界の話を聴くことができてとても参考になりました。いよいよ川原君の出番です。ヘルメットをかぶって突撃！！

04

パートナーPR

山崎製パン様の美味しいパンを食べながらパートナー様のPRタイムを見ました。短いPRタイムでしたが、その分中身が濃い内容でした。各社のブースを見学して、スタンプラリーにも参加しました。突撃した川原君でしたが、パンの魅力に負けておやつタイムです…

突撃インタビュー

「立食パーティー」

パーティー中に、研究グループメンバに川原君が突撃インタビューを行いました！

Q. 1年間の研究活動の感想を教えてください。

A. 研究活動自体が社会人になり初めての経験で、すごく良い経験でした。シンポジウムも色々な企業の方の展示や発表を見て、世界が広がりました。また参加したいと思います！

05

研究発表

発表する研究グループにインタビュー！

Q. これから発表ですが今の感想は？

A. 緊張すると思いますが、1年間研究してきた内容を思う存分発表してきます。

いってらっしゃい!!
頑張って!!

06

講演会

オリンピックメダリスト朝原氏の講演会です。川原君も席に座って聴講しました。アスリートもこんなにロジカルでITやデータを活用されていることを知り、とても驚いた川原君でした。

07

表彰パーティー

研究発表も終わりあとは表彰式を待つだけ！その前に、発表したご褒美かな！？おいしい料理を食べて、柏原芳恵さんの楽しいショーで盛り上がり表彰式を待ちます。川原君も盛り上がりました！！表彰式では、IW02研究グループが最優秀活動賞を受賞。受賞者のガッツポーズで会場の盛り上がりは最高潮です！！

突撃インタビュー

「 受賞インタビュー 」

ここで、ようやく川原君が仕事を開始です！！
最優秀活動賞研究グループにインタビューです！

Q. 今のご感想は？

A. メンバーに恵まれました。リーダー（いじられ役？）を引き受けましたが、おかげ様で雰囲気もさらに良くなり、研究に活かせたのではと思います。研究した内容が各社で使えるものになっているので、皆さんの業務の参考にしていただきたいと思います。

あっという間の2日間でした。インタビューにご協力いただいた方々ありがとうございました。
来年のシンポジウムでも川原君が突撃インタビューに登場します。ご期待ください！！

第35回UNIRITAユーザシンポジウム

受賞報告

研究グループ活動賞

最優秀活動賞

西日本情報活用研究部会

IW02：WEBマーケティングとビジネス連携

オンライン営業部設立企画書（社外秘）

～空前絶後のWebマーケティング改革！～

株式会社オージス総研	穴瀬 康信
株式会社クロスユーアイエス	床井 規秀
ユニチカ株式会社	馬 依婷
株式会社リンクレア	山本 仁美
株式会社ノエビアホールディングス	藤澤 洋平
株式会社KYOSO	住友 洋介
第一工業製薬株式会社	松田 有博
日本精線株式会社	佐々木 拓真
株式会社ダイフク	湯谷 恵三
旭化成株式会社	松原 輝志
株式会社ユニリタプラス	黒田 浩子

BtoBにおけるWEBマーケティングの接客施策に注目し、より多くの顧客獲得を狙うためにチャットボットを利用したオンライン営業部を提案。

【苦労した点】BtoBのWEBマーケティングとしての最終ゴールをどこに置くかがなかなか決まらなかった。研究テーマを具体的な言葉に置き換えていくことに一番苦労した。

【良かった点】役割分担を明確にし、それぞれが責任を持って取り組むことができた。最後までチームで楽しく活動することができた。

優秀活動賞

東日本情報活用研究部会

IE11：ブロックチェーン技術を利用した新ビジネスの可能性

ブロックチェーン革命前夜に

～新ビジネスの可能性～

MS&ADシステムズ株式会社	永田 慎裕
MS&ADシステムズ株式会社	数原 順子
ネットワンシステムズ株式会社	今井 慶人
株式会社匠BusinessPlace	清水 康平
株式会社KYOSO	木村 祐亮
株式会社KYOSO	背黒 壽嗣
株式会社THS	車 鑫
株式会社データ総研	京角 友恵
株式会社データ総研	持田 恵佑
東亜建設工業株式会社	山中 紀一
株式会社ユニリタ	裴 楷

ブロックチェーン技術の正しい理解と活用に向けた検証を通し、「競業」から「協業」へ、ビジネス概念『革命』の可能性を提案！

【苦労した点】深堀ポイント決定、結論への展開をまとめるのに時間がかかった。最終成果物作成に向けた役割分担は、もう少し早い段階で行うべきだった。

【良かった点】メンバーそれぞれが目的を持ち、持ち味を活かした活動ができた。なかなか参加できないメンバーも意見を出し合える活動ができた。

優秀活動賞

東日本情報活用研究部会

IE02：企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）

日本式DXのすゝめ

～ 黒船襲来！志士を育てるDX道場～

リコーITソリューションズ株式会社	備前 勇
リコーITソリューションズ株式会社	長谷川 裕二
株式会社匠BusinessPlace	山形 友佳子
株式会社匠BusinessPlace	田中 豊久
株式会社システムエグゼ	佐野 佑太
株式会社システムエグゼ	浅野 真哉
出光興産株式会社	柴田 美貴
株式会社ユニリタ	小池 環

日本企業がDXするために必要な要素である人材育成に着目し、DXの理解とデジタルな思考を身に着けるためのトレーニングツールを開発。日本企業のDXのやり方とトレーニングツールの検証結果を発表。

【苦労した点】DXというテーマの中で、何を研究するかという絞り込みに苦労した。

【良かった点】良い仲間と出会い、研究をして、普段の業務では経験できない事が経験できた。また、この経験が普段の業務で必要な思考であると気づくことができた。

優秀活動賞

東日本情報活用研究部会

IE12：DevOps

DevOps：導入できないたったひとつの誤解

水落さんの知らないDevOpsの世界

MS&ADシステムズ株式会社	飯田 昌弘
ソニーペイメントサービス株式会社	佐藤 達志
ソニー生命保険株式会社	中西 智哉
株式会社岡村製作所	大久保 圭
株式会社匠BusinessPlace	篠原 幸太
株式会社荏原製作所	牧薗 大輝
株式会社ユニリタ	寺田 欣泰

日本のシステム開発現場でDevOpsの導入が進まない理由を、たった一つの誤解として発表。

【苦労した点】メンバーそれぞれの経験、知識のばらつきがあったため、それを均し、チーム全体の見解をまとめる過程に苦労した。

【良かった点】各自、現状出来ることにプラスアルファで頑張ったおかげで良い結果を残すことが出来た。研究を通じて、レベルアップできた。

審査員特別賞

西日本システム運用研究部会

OW02：システム運用におけるモチベーションの考え方

モチベーション ライジング

～システム運用の仕事は、情熱を燃やせるか？～

モチベーションの状態を可視化する方法を考案し、システム運用の現場に関わるメンバーで検証を行い、その実用性を確認した。

【苦労した点】モチベーションという目に見えないものについて、どうアプローチして検証を実施していくのか、なかなか方向性が固まらなかった。

【良かった点】この研究をきっかけに、マズローの欲求5段階説やERG理論などのモチベーション理論について、知識を深めることができた。

審査員特別賞

東日本システム運用研究部会

OE04：機械学習は運用部門を救えるか

運用保守部門のAI活用指針

～業務の効率化を目指して～

運用部門が抱える課題に対して機械学習の適合性を研究し適合性評価表を作成し、機械学習による予測・問い合わせツールの構築結果を発表。

【苦労した点】機械学習という未知の技術に対して、試行錯誤しながら実践方式を定めることに苦労した。

【良かった点】日々の業務で触れる機会のない技術を学ぶことができた。目標に向かってメンバー一丸となり、色々な課題をクリアして良い結果に結びついた。

最優秀事例発表賞

株式会社匠Business Place　田中 豊久 氏
株式会社カラーズ　田尻 久美子 氏

Smart Communication Platform

大介護時代を乗り切る『M3ケアポータル』

～SCPを活用して安心した介護社会を迎えよう～

優秀事例発表賞

株式会社アークシステム　江里口 修 氏

Waha! Transformer

コマツ様におけるSOX監査ツールのリプレースと効率化について

CLOSE-UP! シンポジウム 最優秀事例発表賞インタビュー

第35回UNIRITAユーザシンポジウムの「最優秀事例発表賞」は、株式会社匠BusinessPlace 田中 豊久氏、株式会社カラーズ 田尻 久美子氏が受賞されました。今回は、田中 豊久氏にシンポジウムでの発表のご感想や、今後ユーザ会に期待されることをお聞きしました。

田中 豊久 氏
株式会社
匠BusinessPlace

田尻 久美子 氏
株式会社カラーズ

第35回UNIRITA ユーザシンポジウム
最優秀事例発表賞受賞

大介護時代を乗り切る『M3ケアポータル』
～SCPを活用して安心した介護社会を迎えよう～

Q1 シンポジウムでの発表のご感想と、受賞されたお気持ちをお聞かせ下さい。

シンポジウムでは前職のころとあわせて2回目の事例発表でしたが、いずれも賞を頂くことができて大変嬉しく思います。
実は発表練習は1回もしていなかったので全部アドリブでしたが、話す内容はおおむね決めていましたので不安はあまりありませんでした。
内容については、パーティでの壇上でもお話をさせて頂きましたが、今回の事例はシステムの事例というより介護業界の現状をお伝えするという目的がありました。カラーズの田尻様のご協力がなかったらとても受賞には届かなかったと思います。また、聴きに来て頂いた方々の顔ぶれを思い出すと、ちょうどこれから介護問題に直面する方が多い印象です。今回のお話が有用であったと感じていただけた結果だと思っていますが、これを機に少しでも介護に興味を持っていただけたらと思います。
紙面ではありますが改めて御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

Q2 ユーザ会について期待されることなどがあればお聞かせください。

「デジタルトランスフォーメーション」に代表される「攻めのIT」が昨今のキーワードかと思います。
AIの活用ばかりに目が向きますが、マインドとしての「攻め」をビジネスとシステムの両面でどのように行っていくかが課題です。ユーザ会においても、この側面で多くの事例や研究成果が発表されることを期待します。そしてユニリタユーザ会を起点としたさまざまなサービスが発案・実現され、日本が元気になっていくといいなと思っています。また、それに今後も貢献していけたら幸いです。
ありがとうございました。

平成30年度 研究グループのご紹介

UNIRITAユーザ会では、業務課題や最新のITキーワードなど、バラエティに富んださまざまな研究グループをご用意し皆様の参加をお待ちしています。数多い研究グループを、対象者別、地域別に分けて紹介しています。また、研究グループに1年間に行う活動を簡単にまとめてました。ぜひご覧いただき、ご興味のある研究グループがございましたらご参加ください。

全てのカテゴリー

東日本

IE03 情報活用

RPA導入考察

働き方改革と共に注目されているキーワードの「RPA（Robotic Process Automation）」で実現できることや、導入におけるメリット・デメリット、問題点について研究します。

IE09 情報活用

事業部門のIT活用

情報システム部に提供されてきたサービスが、事業部門が直接契約を結びクラウドサービスを利用するケースが増えています。事業部門と情報システム部門との役割と関係性を明確にして、事業部門の実現したい姿をしっかりと描き早期にクラウドサービスの導入などを事業部門の方々が中心に研究を行います。

IE10 情報活用

シニア層自らの働き方改革

高齢化社会構造への変化に伴いIT業界でも人材の高齢化が進んでいます。長い間蓄積された経験やノウハウを社内でどのように共有し、現代や将来に向けて活用できるようにしたらよいのかを、シニア世代の方々が中心となり新たな働き方を模索していきます。

IE12 情報活用

電子国家を支える技術

エストニアは、世界最先端の電子国家として知られており世界中から視察団が訪れています。電子国家について学び、電子国家を支えている主要な技術について研究と、変化した後の私たちのライフスタイルがどのように変化するのかを研究します。

九州

GK01 合同

RPA導入による働き方改革

労働基準法改正の審議が進む中、業務生産性をいかに向上するかを考えなければなりません。最近ではRPA導入による業務効率化が注目されております。RPA導入にあたって実現できることや、懸念されることについて研究活動を行います。

一般 若手 中堅

東日本

IE02 情報活用

オープンデータの連携と活用

政府が公開している「オープンデータ」の収集方法や分析方法等について学び、企業内部に存在するデータとオープンデータの組合せ方法や分析活用の可能性について研究します。

IE04 情報活用

クラウドサービスの選定術

クラウドサービスを活用するためのクラウドコンピューティングの基礎技術の習得や、クラウドサービスを安心・安全に利用するための情報セキュリティを加えた観点で最適な選定方法を研究します。

IE06 情報活用

IoT活用に向けたIT部門の取り組み

IoT技術を積極的に活用した取り組みは一般的には行われてきましたが、新たなビジネスモデルや価値を創出する取り組むための活動が遅れています。ビジネス部門とIT部門の役割を定義してIoT技術をどのように活用してビジネスに貢献できるかを研究します。

IE07 情報活用

AIの可能性

一般向けでは、「AI(Artificial Intelligence)」を搭載したスマートスピーカーでの家電操作や、音声入力で検索するサービスも登場しています。AIとその関連技術を学び、新たなAIの具体的な活用方法について検討し、実際にAIを搭載した商品開発にチャレンジします。

IE11 情報活用

デジタルマーケティング

スマートデバイスの普及により、各企業のマーケティングへの取り組み方が変化してきました。今回の取り組みでは企業におけるマーケティング担当者の方々が中心に行い、ITという手段をどのように活用すれば新しい取り組みとして実現できるのかを模索して参ります。

IE13 情報活用

クラウドAPI開発

開発のスピードアップやメンテナンスのしやすさから、多くのクラウドサービスでAPIが用意されているケースが増えています。クラウドAPIを利用することでクラウドAPIに関してどのような技術が展開されていて、更なる可能性を秘めているのかを研究し、実際に開発を行い、連携を実現することを目的として行います。

OE03 システム運用

これからのセキュリティのあり方を考える

クラウド等の技術の浸透、利便性が向上することにより、一層重要視されるセキュリティ。企業のガバナンス、内部統制強化、情報漏洩対策など各社で重要視されております。今後のセキュリティのありかた等を研究し提言できる研究をしてまいります。

OE04 システム運用

失敗事例から学ぶ、運用目線の非機能要件定義

業務要件定義の多くは、開発者による機能重視されたものとなっており、実運用に乗せた業務を意識した設計になっていないケースが多くあります。よく聞くこの課題に対し、失敗してしまう事例・ケースから学び、開発後の運用を意識した真の要件定義を色々な角度から研究していきます。

OE06 システム運用

変化の激しいサービス時代の最適なインフラ構築・運用

変化の激しいIT業界では、既存ビジネスのサービス化、デジタル化により一層スピードを求められてきました。サービスを支えるIT、インフラも最適な構成やそれを支える運用も同様に高いサービスレベルを求められております。今後一層高度な要求が加速する最適なインフラ構築・運用の実現について研究していきます。

OE07 システム運用

運用ナレッジの確実な継承方法研究

システム運用の世界では、運用ノウハウや情報を組織全体で共有し、有効活用することが企業の組織力向上のためには必要不可欠です。SNSなどの様々なコミュニケーション技術を活用し、ナレッジの確実な継承の仕方について研究していきます。

OE08 システム運用

若手が考えるIT部門業務改革

IT部門の役割は効率化、システム構築だけではなく、ビジネスモデルそのものを変革するためのIT利活用など、企画立案の機能が必要になってきています。若手エンジニアの視点で、業務改革を先入観にとらわれず、ベテランIT部門担当者に提言する研究をしていきます。

OE09 システム運用

ワークスタイル変革を考える

今後の人材の確保困難、ビジネスの存続リスクなど従来の働き方では限界があるのは目に見えています。最新技術(IT)を駆使し、従来の悪しき風習から脱却、ワークスタイル変革をIT従事者の視点から業務変革するためにはどうするべきかを研究していきます。

研究活動の流れ ［主な活動とスケジュール］

5月

春の全体会

研究活動のキックオフとして全国で春の全体会を開催します。全体に対してオリエンテーションを行ったあとは、グループごとに分かれて初回の会合を行います。これから1年間、一緒に研究活動を進めていくメンバ、コーディネータと初めての顔合わせです。自己紹介や今後の進め方などを決めていき、研究活動がスタートします。

開催概要

	開催日	会　場
東日本	平成30年5月23日(水)	TKPガーデンシティ品川(品川)
中部	平成30年5月16日(水)	キャッスルプラザ(名古屋)
西日本	平成30年5月15日(火)	アートホテル大阪ベイタワー(弁天町)
九州	平成30年5月21日(月)	TKP博多駅前シティセンター(博多)

7月

合同合宿

日帰りや1泊2日での合同合宿を開催します。何にも邪魔されない環境で研究テーマの深掘りや議論に集中でき、メンバとの親睦も深まりますのでぜひご参加ください。

システム運用 システム運用研究部会　情報活用 情報活用研究部会　合同 合同研究部会

部門長

東日本

IE01 情報活用

これからのIT

情報システム部やITベンダーのマネジメントを対象に、その豊富な経験を活かし、ビジネスの本質の議論をリーダーやマネージャの立場から改善策の討議を行います。

OE01 システム運用

運用管理事例

システム運用に携わった経験豊富な管理者を対象に、その豊富な経験を活かし、これからのITシステム運用の問題点や課題について管理者の立場としての改善策の討議を行い、経験した事例の紹介等を通して、「明日のITシステム運用」を考える活動を行います。

中部

GN01 合同

企業に貢献するIT

現在のIT部門は、安定したシステム運用だけでなく、経営に貢献することを求められています。その為には、IT部門の組織変革や人材強化、IT部員のモチベーション向上が必要です。各メンバ企業での取組事例の共有、情報交換を通しこれからのIT部門のあり方について考察します。

西日本

GW01 合同

業務変革とIT活用

IT全般について、あり方や活用方法を研究します。攻めのIT、システムイニシアチブ、事業継続計画、コンプライアンス対応、ITガバナンス、グローバル人材活用、IT利用とコストとの関係など、各社で抱える問題、課題について情報交換し、身近な解決策を探っていきます。

リーダ・マネージャ

東日本

IE05 情報活用

システム内製化に適した要件定義

クラウドコンピューティングの利用が増えている一方で「システム内製化」の動きにも注目されています。システム内製化のメリット、デメリットを踏まえて、ビジネスを早く開始させるための要件定義の方法論と、実際的な進め方に焦点を当てた活動を行います。

OE02 システム運用

デジタルトランスフォーメーションを加速するために果たすべき役割研究

IT部門の存在価値を問われるケースをよく目にするようになり、「デジタルトランスフォーメーション」というキーワードがでてきました。IT部門は企業の業務プロセス改革などに対し先進的なIT技術を活用することで業務プロセスの効率化、売上向上などを実現してきました。デジタルトランスフォーメーションを加速するために果たすべき役割について研究します。

IE08 情報活用

社内YouTuber育成

企業のマーケティング手法として「YouTuber」を活用して認知度や売上を上げる施策が注目を浴びています。このような背景を受けて社内にYouTuberを育成してマーケティング活動を行うためには、実際に動画撮影を行い、社内や世の中に影響力を与える研究をします。

OE05 システム運用

AI／自動化の波に対応した運用技術確立研究

AIなどの技術がクラウド、IoT、ビックデータなどの別の技術がでてきたことにより人工知能ブームが起こっております。安定運用がミッションのシステム運用担当者において、日々増加する運用業務の負荷を減らすことができるのか？を研究します。

OE10 システム運用

今後使うべき最新技術研究

クラウド、ビックデータ、IoT、AIなどテクノロジーも進化していき、業務部門プロセスだけでなく、ビジネスモデルもITを使いより一層変革を遂げる時代になってきました。最新のテクノロジーまたはそのトレンドについて研究し、今後取り入れるべきものは何か？を研究します。

中部

IN01 情報活用

AIエンジン活用によるビジネス貢献

業務にAI（人工知能）を導入して効率化や、予測や判断を支援させたいが、専門知識を持ったAI技術者が社内にいない。そういった状況での解決策として、AI導入のハードルをさげる様々なAIエンジンが登場しています。AIエンジン、IoTなどを活用したビジネス貢献について研究を行います。

GN02 合同

IT部門としての働き方改革ツール活用

労働時間短縮、リモートワークなどをITの面から支援するツールとしてRPAや、様々な技術やツールが利用されはじめています。改革推進エンジンとして、IT部門がそれぞれの企業風土に応じてどのようにツールを活用していくべきか、その課題について研究を行います。

ON01 システム運用

システム運用効率化のためのインタフェース活用

運用管理インタフェースとして様々なGUI、CUIを駆使してシステム運用は実施されています。従来のインタフェースに加えて、マイクやカメラ、各種センサーと組み合わせたIoT技術やVR機器、チャットBOTなどをシステム運用の効率化をどう実現できるかについて研究を行います。

西日本

IW01 情報活用

AI時代これからの情報システムの在り方

最近身近な言葉となったAIですが、現場ではAIをどのように導入すればよいかわからず情報システムへ相談されます。情報システムでAIを取り扱えるのでしょうか？世の中で提供されているAIのAPIなどを業務に適用できるのか？何に適しているのか？について研究して行きます。

IW02 情報活用

IoT時代におけるビッグデータ分析

昨今IoTのツールを導入することで、様々な物の情報を簡単に入手することが可能となります。当然、収集した情報は大量となり、どのように活用するのかが課題となります。この情報を利用しどのような事ができるのか、ビッグデータと向き合い、分析の視点で研究を行います。

GW02 合同

デジタルセキュリティー管理

様々な業務がシステム化されデータが散在しています。個人情報、研究文献、プログラムソース、IoTで収集したデータ。その一方、社内漏えいなどの脅威もあり、万全なセキュリティ対策を行う必要があります。データが流出した場合の対処や、利用者のデバイス利用やコンプライアンスについて研究を行います。

OW01 システム運用

最新技術による完全自動化

いくら自動化を行ったとしても人が対応する状況が残っています。人に依存してしまう処理を最新技術のRPAや人工知能、ブロックチェーンなどを利用することで、運用の完全自動化が可能であるか研究を行います。

OW02 システム運用

ワークライフバランスどう考える？

政府の取り組みにもある「仕事と生活の調和」ですが、現実には、仕事と生活が両立しにくい状況があります。充実感を感じて働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる豊かな生活ができるような研究を行います。

9～10月 グループリーダ会議

各グループのリーダが集まり、研究活動の進捗を報告します。他グループのリーダや代表・副代表と意見交換することより、今後のグループ活動をよりよくしていきましょう。

12月 冬の全体会

春の全体会から7ヶ月、それぞれの地区の全グループが一堂に会します。各グループから研究活動の進捗報告、3月のシンポジウムに向けた発表講習などを実施し、研究活動のまとめに望みましょう。また、全体会後の懇親会では、シンポジウムでの発表枠の抽選も行います。

1～2月 発表練習会

研究活動も大詰めとなり、シンポジウムに向けた発表練習会を行います。他グループや幹事・代表・副代表を前に発表練習を行い、フィードバックを得てさらに磨きをかけていきましょう。

3月 シンポジウム

1年の活動の集大成！九州で開催するシンポジウムで研究発表を行います。有終の美を飾るのは一体どのグループでしょうか！？

UNIRITA Users' Group

UNIRITAユーザ会の主な活動内容

■研究部会活動

参加ユーザの自主的な運営で、地区ごとにテーマを設定しテーマごとの研究グループが1年間研究活動を行います。

■ユーザシンポジウム

1年間のユーザ会活動の締めくくりとして、研究部会活動発表、ユーザ各社の事例発表の場として、「ユーザシンポジウム」を開催しています。

■情報交換活動

【ITフォーラム】

各地区の方を中心に、会員企業の階層ごとに最新技術情報のテーマを設定し、幅広い分野での意見交換・討議の場として開催しています。

【マネジメント研究会】

全国の部門長クラスの方々を対象に、マネジメントの立場から見た情報システムにまつわる最新の話題を幅広く取り上げ、情報交換を中心に開催しています。

■〈UNIRITAユーザ会〉平成30年度年間スケジュール（平成30年4月～平成31年3月）

		平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月	平成31年1月	平成31年2月	平成31年3月
幹事会・研究部会運営会議 等		運営会議 4/25(水)							運営会議 11/7(水)			幹事会 2/8(金)	準備会 3/7(木)
				幹事会 6/8(金)					幹事会 11/22(木)			WEB総会	
東日本	情報活用研究部会		春の全体会 5/23(水)							冬の全体会 12/6(木)			ユーザシンポジウム 3/7(木)～9(土)
	システム運用研究部会												
	東日本ITフォーラム	4/12(木)						10/19(金)			1/25(金)		
	情報活用合同合宿				7/13(金)～14(土)								
	システム運用合同合宿				7/13(金)～14(土)								
	情活グループリーダ会議						9/11(火)						
	運用グループリーダ会議							10/26(金)					
中部	情報活用研究部会		春の全体会 5/16(水)							冬の全体会 12/13(木)			
	システム運用研究部会												
	中部ITフォーラム	4/20(金)							*11/16(金)				
	合同合宿				7/20(金)～21(土)								
	合同グループリーダ会議							10/23(火)					
西日本	情報活用研究部会		春の全体会 5/15(火)							冬の全体会 12/18(火)			
	システム運用研究部会												
	合同研究部会												
	西日本ITフォーラム	4/19(木)									1/18(金)		
	合同合宿				7/6(金)～7(土)								
	合同グループリーダ会議							10/26(金)					
九州	情報活用・システム運用合同研究部会		春の全体会 5/21(月)							冬の全体会 *12/11(火)			
	九州ITフォーラム			*6/22(金)						*12/11(火)			
	合同合宿				7/27(金)～28(土)								
	グループリーダ会議							10/25(木)					
マネジメント研究会			5/11(金)〈東京〉	*6/22(金)〈福岡〉			9/7(金)〈大阪〉		*11/16(金)〈名古屋〉				
マネジメント研究会懇親会			5/12(土)〈東京〉	6/23(土)〈福岡〉			9/8(土)〈大阪〉		11/17(土)〈名古屋〉				
短期ゼミナール・1dayセミナー					7-11月 随時開催								

「＊」は「合同開催」　上記のスケジュールは都合により変更される場合もございますので、予めご了承下さい。

役員・代表の紹介

平成30年度のUNIRITAユーザ会役員・代表の方々をご紹介します。

役員

会長
坪井 祐司
(株)LIXIL
常勤監査役

幹事
山本 義之
出光興産(株)
情報システム部 部長

幹事
駒澤 正樹
サッポログループマネジメント(株)
グループIT統括部
シニアイノベーションエキスパート

幹事
東野 彰
(株)オージス総研
プラットフォームサービス本部
IT基盤技術部 部長

幹事
河村 優司
さくら情報システム(株)
執行役員
サービス事業本部事業本部長

幹事
山口 公晃
ケージー情報システム(株)
取締役アプリケーション開発部
部長

幹事
原 裕一
カシオ計算機(株)
情報開発部 カスタマーリレーショングループ
マネージャ

幹事
久保 知裕
昭和シェルビジネス&
ITソリューションズ(株)
代表取締役社長

幹事
石井 克三
(株)NSP
ソリューションビジネス事業本部
取締役事業本部長

幹事
後藤 聖央
ソニー生命保険(株)
IT戦略本部 基盤システム統括部長 兼
同部 基盤構築課 課長

幹事
佐々木 行彦
ANAシステムズ(株)
取締役事業推進室長

幹事
渡辺 順
(株)日立ビルシステム
IT本部情報インフラ部兼
IT企画部 部長

幹事
根崎 周一
生活協同組合連合会 東海コープ事業連合
常務理事

幹事
渡辺 浩之
(株)ユニリタ
常務執行役員

会計幹事
小池 拓
(株)ユニリタ
執行役員

東日本地区代表

情報活用研究部会代表
坂本 克也
BI-Style株式会社

システム運用研究部会代表
中俣 幸二
株式会社リコー

中部地区代表

中部情報活用研究部会代表
山口 聡
株式会社ダリヤ

システム運用研究部会代表
小林 浩一
株式会社豊通シスコム

西日本地区代表

情報活用・合同研究部会代表
近藤 寿和
ユニチカ株式会社

システム運用研究部会代表
深沢 修
旭化成株式会社

九州地区代表

情報活用・システム運用
研究部会代表
永浦 秀敏
株式会社インフォセンス

マネジメント研究会代表

マネジメント研究会代表
山口 公晃(兼任)
ケージー情報システム株式会社

ITフォーラム代表

東日本ITフォーラム代表
原 裕一(兼任)
カシオ計算機株式会社

西日本ITフォーラム代表
東野 彰(兼任)
株式会社オージス総研

中部ITフォーラム代表
根崎 周一(兼任)
生活協同組合連合会
東海コープ事業連合

九州ITフォーラム代表
永浦 秀敏(兼任)
株式会社インフォセンス

平成30年度
研究メンバ募集について

UNIRITAユーザ会は、様々な業種、様々なIT環境のメンバが集まる人脈形成の場であり、また、他のユーザ会と異なる大きな特徴として、1年を通した研究活動による技術力向上をテーマにした活動を中心としていることがあげられ、人材育成の場としても活用していただけます。

UNIRITAユーザ会では平成30年度の研究部会メンバを募集しております。

研究部会のキックオフとなる春の全体会は5月15日（火）より全国で順次開催いたします。研究メンバ同士の顔合わせの場となるだけでなく、1年間の研究内容の方向性が決定される場でもありますので、ぜひ、春の全体会からのご参加をお勧めいたします。

ご参加者・ご参加者上司の声

ご参加者の声

- いろんな会社の人がひとつのゴールに向かって試行錯誤する場は非常に貴重で今後も自社メンバは参加したいと思います。
- 研究活動では業種・役職・年齢が異なるメンバで活動が出来たことは勉強になり、大変有意義な活動が出来ました。自由な雰囲気であった為、普段の仕事とは違った開放感のようなものがあり、リフレッシュ出来ました。
- 1年間研究してきたテーマを大人数の前で発表するという機会はなかなかないため、刺激になりました。

ご参加者上司の声

- 活き活きと発表していました。また、他社さんとの交流が深まり良い仲間ができた様です。
- 部下への教育の一環（研究プログラム、他者交流、情報収集の場）として有効である。
- 1年という長い期間、他社の皆さんと協力して成果物を作成し発表まで行うことに意義を感じているし、こういう機会はとても重要だと思う。

お申し込み・詳細はユーザ会ホームページをご覧ください。平成30年度の全国の研究テーマの詳細を公開しています。
「ユニリタユーザ会」で検索！ ▶http://www.uniritauser.jp/

編集後記
事務局より

第35回UNIRITAユーザシンポジウムinヒルトン福岡シーホーク

昨年に引き続き、2回目の福岡開催となりました。今年も皆さまに支えられて無事に終わることができましたことを、この場を借りて御礼申し上げます。
手に汗握る研究発表を終えて、ご参加の方々の多くが2次会や3次会にくりだし、事故なく楽しんだことと伺っております。今年も皆さまからのお喜びの言葉を多数いただきました。本当にありがとうございました。
月日が経つのは早いもので、あっという間に4月の研究メンバ募集が始まりました。2018年度の活動は、5月の春の全体会からキックオフとなり始動します。今年味わった感動を、もう一度味わってみませんか？また来年、皆さまに会えることを楽しみにしております。

編集発行：UNIRITAユーザ会事務局　〒108-6029　東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟29階 株式会社ユニリタ内
Phone：03-5463-6412　Fax：03-5463-6392　E-Mail：usergrp@unirita.co.jp　URL：http://www.uniritauser.jp